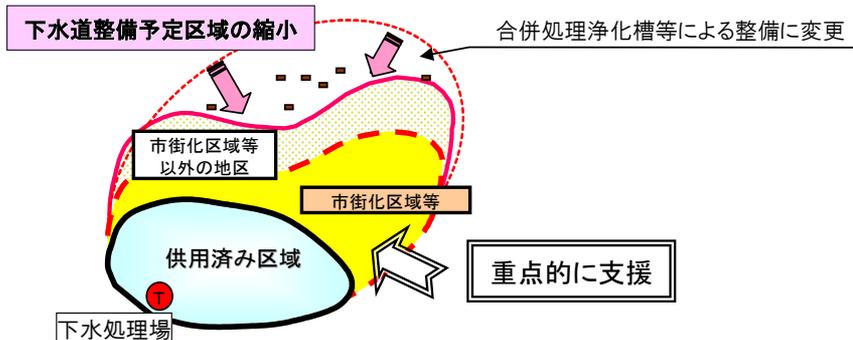


未整備人口の早期解消に向けて

「下水道未普及解消クイックプロジェクト」

- 人口減少等の社会情勢の変化も踏まえた下水道計画の見直し
- 集落排水や浄化槽など他の汚水処理施設との連携強化
- 地域の実状に応じた低コスト、早期かつ機動的整備が可能な新たな整備手法の導入により下水道未普及地域を早急かつ効率的に解消

下水道計画の見直しと重点的な支援

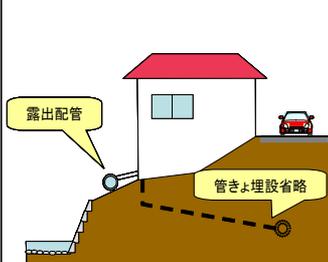


社会実験による新たな整備手法の検討例

- 既存の水路空間等を活用した露出配管
※埋設に係る費用が不要になることにより、
低コストで早期の整備を実現

熊本県益城町の例（露出配管施工部）

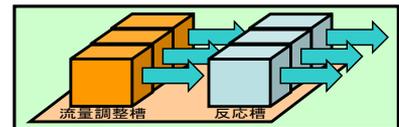
- コスト縮減効果：約80%縮減 約1,200万円→約230万円
- 工期短縮効果：約58%短縮 31日→13日



熊本県益城町

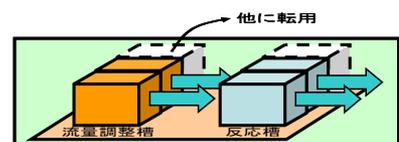


- プレハブ式膜分離活性汚泥法の採用例
※工場生産した規格ユニットを必要規模
に応じて配置するもの



計画水量300m³/日の場合

人口減少に対応



計画水量200m³/日の場合